《 競 技 注 意 事 項 》

１　本大会は、２０１３年日本陸上競技連盟規則及び顧問会議申し合わせ事項により実施する。

２　練習及びウォーミングアップについて

（１） トラック競技、フィールド競技とも補助競技場で行うこと。

（２） 室内練習場での以下の練習は禁止とする。

(ア) ハードル走

(イ) スターティングブロックからのスタートダッシュ

(ウ) 牽引走

(エ) その他、器具を使用しての練習

（３） 練習の際は競技役員等の指示に従い、自己中心的な行動は慎むこと。

（４） 事故防止には万全を期すること。

３　招集について

（１） 招集所をバックスタンド室内走路に設ける。
トラックは１５分前、フィールドは３０分前までに招集所でチェックを行う。
最終的には、現地にトラック１０分前、フィールドは２５分前に集合する。

（２） 多種目に兼ねて出場する競技者で、同時に２種目が行われる場合は、多種目出場届を招集完了１時間前まで招集所へ提出する。

（３） リレー競技に出場するチームは招集完了時刻の１時間前までに所定のリレーオーダー用紙（招集所に準備）に必要事項を記入し招集所へ提出する。

（４） あらかじめ出場競技種目を棄権する場合は、棄権届を招集完了１時間前まで招集所に提出する。また、突発的な事故等で棄権する場合は、完了時刻までに招集所へ提出する。

（５） 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。

（６） 混成競技の招集については、その日の第１種目は１５分前までに招集所でチェックを行い２種目目からはトラック１０分前、フィールド２０分前に現地に集合する。

４　競技について

（１） トラック競技における予選のレーン順及び、フィールド競技の試技順はプログラム記載の左側の番号で示す。準決勝、決勝のレーン順は主催者において公平に組み合わせの上、抽選して決定する。

（２） リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも２人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。予選に出場したメンバーは、その後のラウンドを通して、２人以内に限り他の競技者と交代することが出来る。

（３） 三段跳びの踏み切り板は１０ｍ地点に設置する。

（４） 競歩においては、下記の時間を過ぎた時点で最終周回に入らない場合は、打ち切りとする。

男子５０００ｍW　　３８分　　女子５０００ｍW　　４３分

５　バーの上げ方について　**（　高　校　）**

	練習	1	2	3	4	5	6	以後
走高跳（男子）	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	＋３㎝
走高跳（女子）	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45			＋３㎝

※棒高跳においては現場の跳躍審判員が決定する。

６　その他

（１） プログラム記載の個人情報は、取得の際に特定した利用目的の範囲内で、適正に利用する。

（２） 大会期間中の貴重品の管理は各自行うこと。

（３） 集団応援は他の競技に支障のないようにすること。

（メインスタンドでの集団応援は禁止）

お知らせ

近年の女性競技者に対する盗撮問題に鑑み、競技場内外での撮影を許可制とさせていただきます。

学校毎、決められた撮影用のビブスを配布いたしますので、撮影はビブス着用者のみとなります。撮影場所については、撮影禁止エリア以外となります。

尚、内容について不明な点は、各学校陸上部顧問に確認してください。